

人と自然が、福津市の財産

福津市に生まれ、福津市で育った私は、このふるさとを大変誇りにしています。平成17年1月、旧福岡町と旧津屋崎町の合併によって生まれた福津市は、福岡市や北九州市への交通便利性に優れる一方、豊かな自然や歴史遺産にも恵まれたお宝でいっぱいのお宝です。中でも一番の財産は、人の素晴らしさでしょう。昔からこの地の人々は自治の精神に富み、安心して暮らせる住みよいまちを自分たちで築いてきました。

人がまちをつくり、まちが人を育てる——それは、先人から脈々と受け継いだこの地の風土でもあります。私も幼いころ、よく近所の人にしかられたものですが、そうした地域で人を育てるといいう人々の温かい眼差しは今もこの地に息づいています。その意味でもここは子育てには最適の場所だと私は思います。こうした思いやりのある空気の中で育つ子どもたちはいいな、と思います。もちろん、まちも支援を惜しみません。さまざまな行政サービスを充実させながら、福津らしい教育を地域の人たちとともに進めています。そして高齢者や障害のある方々にとっても暮らしやすいまちであるように、「心のユニバーサルデザイン」を掲げ、誰にも優しいまちづくりを展開しているところです。

私は福津の海が大好きです。日々変化する姿はこちらの内を映し、穏やかな日は心癒され、荒れた海を眺めては自らを戒め奮い立たせています。福津の自然や伝統文化はかけがえのないものです。こうした素晴らしい宝物をまちづくりに生かし、住民の皆さんと共存を進めていくことも大切にしたいと考えます。そしてこれからも郷土を愛する人がさらに増え、元気なまちに育つよう、一体感のあるまちづくりを進めたいと願っています。

平成22年3月

福津市長 小山達生

撮影場所：福津市まちおこしセンター「津屋崎千軒なごみ」
福津の観光とまちおこしの拠点として、平成21年7月にオープンした「なごみ」は、観光案内コーナーや和室、展示コーナーなどがある施設。たくさんの人に福津市のことを知っていただきたい、という思いで作られた